

こどもタウンミーティング「ロボッチャで学ぶ！わたしたちのまちの未来」

日時：令和7年8月2日（土）9時10分～、13時30分～

場所：コスモスパレットパレット II 芸術ホール

テーマ1. こどもたちが生き生きと学べる学校とは？

1	色々なことを体験し想像力をふくませられる様な楽しめる学校
2	個別最適化された学習が想定された上で楽しく学べること。
3	子ども達が自分のペースで主体的に取り組んで困った時に助け合ったり、周囲の大人にサポートを求められる今日のような環境は、子どもの目の輝き、学びの吸収する深さは座学の桁違いだと体感しました。 興味関心や習熟度に応じた授業クラス分け。体験重視の学習が主体性、学ぶ意欲が伸びると思うので、普段の授業にも取り入れられたら良いなと思いました。
4	安心・安全が確保されている。
5	自然（虫・植物）に触れ合える。
6	子どもたちが自発的にやりたいことを選べる環境であってほしいと思っています。 選択制の授業（大規模校などの対応）もあって良いのかな、と思います。
7	時間と空間と心にゆとりがある。 細切れでない時間割（図工の時間は2～3時間）。
8	行事の充実化。運動会が半日になったのはさびしい。親子参加型や、地域ぐるみの運動会があってもいいと思う。地域の大人との交流会などを通じて地域ぐるみで学校を見守る。
9	自分の意見を言うことができ、他人の意見を聞くことができる。
10	体験型学習ができる環境 例）ロボッチャなどのプログラミング
11	学べる環境の充実 ・インターネット等、通信関係 ・既存の教材にとらわれずに最新の情報を積極的に取り入れる。
12	楽しんで学校に行けることが大事 学校に行ったらワクワクする気持ちが持てるように授業なりサポートしてほしい。 体験型を増やして身体を動かして感じとってほしい。
13	子供たちが楽しい、もっと知りたいと思える学校。 自分の考えを言いやすい環境。
14	色々な個性の子どもがいても（みんなが）お互いが認めあえる学校
15	色々な体験ができて、興味のあることをじっくり学べる学校
16	今回のロボッチャのように、将来プログラミングを身近に感じられる授業が増えるといいと思います。ゲーム感覚で学べれば主体的に楽しく考えることができると思いました。マイクラみたいに子供が興味を持ちそうな内容だいいかと思えます。
17	先生との信頼関係がしっかり築けていて、保護者も関心を持ちお友だちと過ごせる場であること。
18	自ら楽しい、調べたいと思えるような学校 自分の意見を話せるような先生との関係が作れる学校
19	運動会などのイベントも、昔に比べるとコンパクトになっている印象があります。 イベントを通じて、学校・地域・親子の一体感を増やすことができれば生き生きと学べる安心な学校になっていくのではと思います。

20	いじめの早期発見、対応等 西の原小学校は自分の子どもが通学し、現在孫も通学しています。自分の頃と雰囲気が変わってなくていいです。
21	質の高い少人数教育
22	自由参加の課外プログラム
23	「おもしろい」と「役に立つ」のバランスがとれている、学びのある学校